

アクティオの新レンタル製品 LED 光波による水中通話機「i-MAJUN」の レンタル開始！

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタル業の株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人)は、水中での作業効率向上に特化した LED 光波^{※1} による水中通話機「i-MAJUN (イマジユン)」のレンタルを2019年10月1日(火)から開始いたします。



■ 深刻な潜水士不足、護岸工事の必要性

海での工事作業は「潜水士」という国家免許が必要で、全国約 3,300 名の潜水士がいます。しかし、日本潜水協会の推計では、10 年後には 2,900 名まで減少するとされ、建設業界同様に人材不足が喫緊の課題となっています。

現在、2011 年に発生した東日本大震災を契機に、消波ブロック^{※2} を設置する護岸工事の需要が高まっていますが、潜水士不足のため、作業が進んでいないのが現状です。高度経済成長期に建てられた湾岸岸壁の約 50%以上が、15 年後には 50 年以上の経過年数に達し、早急な工事が必要になっています。

その中でもより効率良く安全に護岸工事の作業を行うことができる「i-MAJUN (イマジユン)」のレンタルを開始いたします。

※1 光波とは、光の波動のこと

※2 消波ブロックとは、海岸や河川などの護岸や水制を目的に設置するコンクリートブロック

■ 有線ではなく、光波のため“会話による水中での作業が可能に”

従来まで、水中での会話は、ジェスチャー、または、有線の通信機を使用する手段しかなく、緊急時の作業連携や会話を繋ぐケーブルの設置など、作業の自由度や安全面に問題がありました。

「i-MAJUN (イマジユン)」は、発した声を骨伝導で送信機に送り、LED 光波で相手に伝えるため、会話を繋ぐケーブルが不要で、取り回しの必要性がなく、自由で安全な作業が可能にしました。

アクティオでレンタルをしている、遠隔操作で吊り荷の旋回制御ができるジャイロマスターと併用することで、海風の影響を受けずに吊り荷を指定の場所で自由に回転させ設置する事ができ、より効率的な作業が進められます。



■「i-MAJUN（イマジユン）」スペック



最大通信距離：10m
最大深度：30m
LED：疑似白色（3W×9個）
明るさ：1,500ルーメン
通信チャンネル：2チャンネル
連続使用時間：約4時間
電源：専用リチウムイオン電池

■レンタル開始日

2019年10月1日～

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでな

く、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ クレーン事業部 担当：多々良

TEL：03-6854-1423